

こんな人こそ

五井 昌久

人の幸福（しあわせ）を自分のことのように喜び

人の悲しみを自分の悲しみのように悲しむ

それでいてその喜びに把（とら）われる想いをもち

その悲しみに沈みこむ愚かさもない

自分のしたどんな善いことにも

他人のしたどんな悪いことにも

いつまでも想いがとどまらずに

何んでも可でも神様が善いようにして下さると信じきっている

それでいながら

善い事柄ならどんな小さなことでもおろそかにせず

少しの悪い行為をも即座に消し去ろうと努める

心はいつでも青空のように澄んでいて

体中から温かいほほえみが一杯溢（あ）ふれている

その心にはいささかの誇る想いもなければ人をさげすむ想いも無い

ただ心の奥底から湧きあがってくる世界平和の祈りの中で

生命（いのち）生き生きと生きている

そんな人々が世界中から沢山育（は）ぐくまれてくることを

私は

平和の祈りをしつづけながら願っている

詩集『純白』より